

平成28年度予算見積調書

課室名：義務教育指導課
 担当名：学力向上推進担当
 内線：6747

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B92	「考え、話し合い、学び合う学習」推進事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	指導内容研究推進費	
事業期間	平成26年度～平成28年度	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第48条			戦略項目	06	時代に応え未来を拓く人材育成	
					分野施策	020101	確かな学力と自立する力の育成		
<p>1 事業の概要</p> <p>変化の激しい社会では、身に付けた知識・技能を活用し、課題を解決するための思考力・判断力・表現力等が必要であり、その育成には、教師による一斉型の授業だけではなく、児童生徒が「相互に学び合う学習」を推進することが不可欠である。</p> <p>既に「相互に学び合う学習」は様々な方法で行われているものの、学習方法の効果的な活用法等について、学校は疑問や不安を抱えている。</p> <p>そこで「相互に学び合う学習」の、発達の段階や学習内容に合わせた効果的な活用法等を明らかにし、全ての小中学校への普及・促進を図る。</p> <p>(1) 推進検討委員会 440千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 「考え、話し合い、学び合う学習」推進検討委員会 440千円</p> <p>(ア) 推進協力校担当者、関係市町村教育委員会担当者、県教育局関係課所担当者で構成</p> <p>(イ) 発達の段階や学習内容に合わせた効果的な活用場面の検討</p> <p>(ウ) 大学等と連携した効果的な活用法の検討</p> <p>(エ) 実践事例集の作成、公開</p> <p>(オ) 授業研究協議会の実施</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 平成26年度(1年目)：学習方法の実態調査、資料収集、他県の事例等を調査・研究し、学習方法を整理する。大学等と連携して効果的な活用法等を検討する。検討成果を踏まえ、推進協力校で実践研究を実施する。</p> <p>イ 平成27年度(2年目)：1年目の課題等を踏まえ、引き続き推進協力校において実践研究を行う。</p> <p>ウ 平成28年度(3年目)：推進協力校での取組の分析・検証を行う。児童生徒の発達の段階、学習内容等に応じた効果的な活用法等を示した事例集を作成し、ホームページで発信する。授業研究協議会を実施し、次期学習指導要領を見据え地域における学び合う学習の実践を推進する。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 全ての小中学校で「学び合う学習」が実践される。</p> <p>イ 各学校が本事業の成果を校内研修等で活用することで、教員の授業力の向上が図られる。</p> <p>ウ 効果的な授業・学習が展開されることで、児童生徒の思考力・判断力・表現力等の育成、学習内容の確実な定着、学習への主体性が育成される。</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況 なし</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円</p>									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	前年との対比
決定額	440							440	612
前年額	1,052							1,052	